5-3 東海地方の地殻変動

Crustal Movement in the Tokai Region

国土地理院

Geographical Survey Institute

第1図~第3図は掛川~御前崎間の水準測量結果である。これまでの測量結果から、今回の 測量では御前崎側が沈降すると予想されていたが、第1図の変動図にみられるように御前崎側 は掛川に対して殆ど変動していない。このことは第3図の水準点2595の経年変化図をみれば 一層明瞭である。季節的変動を補正した第3図下部の経年変化図によれば、今回の測量では水 準点2595が11mmほど隆起したことが読み取れる。この異常隆起が測量誤差なのか、真の地 殻変動なのか、議論の分かれるところである。しかし、第4図に示す同時期に行われた静岡県 による毎週毎の測量結果にも、準基2129に対する水準点2601の隆起が認められるので、真 の地殻変動と考えられる。今の所傾斜計などには対応する変化は認められていない。これが一 時的な変動なのか、今後も継続するのかは、次の測量を待たねばならないが、その間静岡県の 測量を注意深く見守ってゆく必要がある。

第6図, 第7図は御前崎地域の上下変動で, これまでの変動と変わりはない。

第7図~第10図は東海地方の水準測量結果で,第11図は最近2年間の,第12図は5年間の等変動量線図である。御前崎がおよそ5mm/年の速度で沈降を続けている。

第13図~第15図は駿河湾沿岸の験潮記録であるが、特に変化はみられない。

第16 図は小笠放射基線,第17 図は御前崎放射基線の測量結果である。何れも測定誤差をう わまわる変化はみられない。

参考文献

- 1) 国土地理院:東海地方の上下変動,連絡会報,**32**(1984), 255-561.
- 2) 国土地理院: 東海地方の上下変動,連絡会報,**33**(1985), 299-311.
- 3) 国土地理院:御前崎地方の上下変動,連絡会報,**34**(1985), 274-283.
- 4) 国土地理院:東海地方の地殻変動,連絡会報,**35**(1986), 291-305.
- 5) 国土地理院:東海地方の地殻変動,連絡会報,**36**(1986), 254-263.







Fig. 2 Height changes of each bench mark along the route from Kakegawa to Omaezaki, relative to B.M. 140-1.

基準年:1962

基準:140-1



第3図 水準点 2595 の経年変化 Fig. 3 Height changes of B.M. 2595 in the Hamaoka Town.





Fig. 4 Height changes of B.M. 2602-1 and B.M. 2601 relative to S.F. 2129 presented by the Prefectural Government of Shizuoka.











Fig. 7 Level changes along the route from Sagara to Fujieda.







-279-



第10図 舞阪検潮所~浜岡間の上下変動





第11図 東海地方の上下変動(1)1986年6月~7月-1984年4月~6月





第12図 東海地方の上下変動(2)1986年6月~7月-1981年4月~6月

Fig. 12 Vertical displacements in the Tokai region during the period from 1981 June to 1986 June, referred to B.M. 140-1, in units of mm.



Fig. 13 Differences in daily mean sea level between tidal station pairs from the Omaezaki, Tago and Yaizu tidal stations.

-282-



Fig. 14 Differences in monthly mean sea level between tidal station pairs from the Omaezaki, Maisaka, Yaizu and Uchiura tidal stations.

-283-







Fig. 15 Differences in monthly mean sea level between tidal station pairs from the Omaezaki, Tago and Uchiura tidal stations.



第16 図 小笠原射基線精密変歪測量結果



-285-

1	ž	則	定	4	年	1977	77	77	78	78	79	79	80	80	81	81	82	84	84	85	86
	X		間、		1 \	.02	.08	.12	.02	.08	.01	.09	.03	.09	. 01	.09	.11	.02	.11	.06	.07
1	宮	内	_	勝	佐	1268.240	m .240	m .239	m .235	m .235	m.236	m .236	m.235	m .235	m .234	m .237	m .235	m .236	m .236	m .236	m .234
ļ	勝	佐		比	木	1186.477	.480	. 475	.476	.475	.475	.474	. 474	.474	. 473	. 474	. 473	. 473	. 470	. 472	. 471
2	券 佐 ー		・中田東		1408.410	.409	.408	.406	.405	.406	.405	.404	.403	.403	.405	.404	.402	.399	.402	.400	

測器:メコメーター ME3000 辺長変化・水平歪



第17図 御前崎放射基線精密変歪測量結果

